

資料編

資料1 国や都の動向（関連計画等の概要）

資料2 人口と事業所の動向

資料3 市民アンケート調査結果（抜粋）

資料4 ごみ組成分析調査結果（抜粋）

資料5 廃棄物のフロート将来推計

資料6 小平市一般廃棄物処理基本計画（旧ごみ処理基本計画）数値目標の推移

資料7 計画策定の経過

資料1 国や都の動向（関連計画等の概要）

1 ごみ処理基本計画策定指針(平成28(2016)年9月改定)

(1) 概要

環境省は、市区町村が一般廃棄物処理計画を立案し、これに基づいて事業を実施することができるよう、平成5年(1993年)に「ごみ処理基本計画策定指針」を策定しました。

その後、循環型社会の形成には低炭素社会・自然共生社会への取り組みとの統合などが求められるようになり、一般廃棄物の処理においても、地域住民への情報開示を行い、住民の理解と協力を得ながら3Rを進めることが求められています。また、使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律など新たな法律が施行されるなどの状況の変化を踏まえて、平成28年(2016年)9月に改定されました。

(2) 改定内容

- 踏まえる必要のある計画として、「地球温暖化対策計画」が追加されました。
- 市町村の役割として、食品ロス・食品廃棄物の排出抑制が示されました。
- 住民の役割として、食品ロスの削減に資する購買行動に努めること、エネルギー消費効率等にも配慮することなどが示されました。
- 災害廃棄物対策として、基本的な考え方、災害廃棄物処理計画の策定等、災害時における一般廃棄物処理事業の継続性の確保が示されました。
- 関係目標・指標等として、廃棄物処理基本方針における一般廃棄物の減量化の目標量、食品ロス、家電リサイクル法及び小型家電リサイクル法に係る目標値、廃棄物処理施設整備計画における重点目標が示されました。

2 東京都資源循環・廃棄物処理計画

(1) 概要

「東京都資源循環・廃棄物処理計画」は、廃棄物処理法の規定に基づいて策定する計画で、都の廃棄物行政の基本的な方向を示すものであり、東京都環境基本計画に基づく個別分野の計画で令和3(2021)年9月に策定されました。

(2) 計画期間・目標

計画期間は、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間です。また、令和32(2050)年を見据え、令和12(2030)年度のビジョンを提示しています。

計画目標は、令和7(2025)年度及び令和12(2030)年度の目標値が定められています。

計画目標	令和7(2025)年度	令和12(2030)年度
【資源ロスの削減】		
①一般廃棄物排出量	440万トン	410万トン
②プラスチック焼却削減量(2017年度比)	—	40%
③食品ロス削減量	—	38万トン
【循環的利用の推進と最終処分量の削減】		
④一般廃棄物再生利用率	31%	37%
⑤最終処分量	82万トン	77万トン
【災害廃棄物の処理体制の構築】		
⑥区市町村災害廃棄物処理計画策定率	100%	—

(3) 本計画に関連する主要施策

施策1 資源ロスの更なる削減

施策2 廃棄物の循環利用の更なる促進

施策3 廃棄物処理システムの強化

施策4 健全で信頼される静脈ビジネスの発展

施策5 社会的課題への的確な対応

3 東京都 持続可能な資源利用に向けた取組方針

(1) 概要

東京都が平成26(2014)年12月に公表した「東京都長期ビジョン」に基づき、これからの東京の資源循環施策に関する基本的考え方と推進に向けた主な取組を明らかにするため、平成27(2015)年3月に『東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針』を策定しました。

東京都が目指す姿を、オリンピック・パラリンピックとその後を見据え、『東京の持続的発展を確保するため、世界一の都市・東京にふさわしい資源循環を実現』とし、その実現のために、「これまで進めてきた廃棄物の3R施策を土台に、最終処分量の削減とともに、資源利用の流れの上流側から、サプライチェーンの観点も含め、資源の利用を持続可能なものに転換させていく」としています。

(2) 本計画に関連する取組

①優先的に取り組む必要がある課題

○資源ロスの削減の促進

世界的に飢餓の増加・食料供給の不安定化が懸念される一方で大量に発生している食品ロスの削減、レジ袋など使い捨て型ライフスタイルの見直し

○廃棄物の循環利用の更なる促進

廃プラスチックなど業務ビルから排出される事業系廃棄物の更なるリサイクルのルールづくり、廃家電等の不適正処理や違法輸出の防止

②具体的な取り組み

○先進企業等と共同した「持続可能な資源利用」に向けたモデル事業の実施

○事業系廃棄物のリサイクルルールづくり

○廃家電等の不適正処理・違法輸出の防止

○都民・NGO等との連携

○区市町村との連携

4 東京都災害廃棄物処理計画

(1) 概要

平成 28(2016)年 3 月に策定した「東京都資源循環・廃棄物処理計画」では、災害廃棄物を適切に処理するために計画を策定するとしています。「東京都災害廃棄物処理計画」は、平常時から発災後を想定して、各主体の役割分担を整理し、それぞれが取り組むべき内容を明確化した計画で、平成 29(2017)年 6 月に策定されました。

計画の目的のひとつとして、「都内区市町村における災害廃棄物処理計画の策定や見直しの参考に供する」ことを掲げています。

(2) 対象とする災害廃棄物

- 被災した住民の排出する生活ごみ ※
- 避難施設で排出される生活ごみ（避難所ごみ）
- 一部損壊家屋から排出される家財道具（片付けごみ）
- 被災建築物の解体撤去で発生する廃棄物
- 道路啓開に伴い生じる廃棄物
- 被災施設の仮設トイレからのし尿
- 被災した事業場からの廃棄物 など

(3) 各主体の役割

平常時（発災前）、初動期（発災後約 1 か月まで）、応急対策期、災害復旧・復興期の 4 つの段階において、東京都域における行政機関、都民、事業者が、それぞれが担うべき役割を示しています。

区市町村は、区市町村が管理するごみ処理施設や民間の処理施設を活用し、主体的に災害廃棄物の処理を行うものとしています。

各区市町村が単独で処理しきれない場合は、都内の近隣自治体間で構成する臨時の共同組織を設け、地域が一体となって災害廃棄物処理を実施することとしています。

(4) 東京都の災害廃棄物対策

4 つの段階において、区市町村や事業者、国、他道府県との広域的な連携体制の構築、東京都災害廃棄物処理推進計画の策定など、東京都が取り組む内容を示しています。また、都内区市町村と調整し、各区市町村が策定する処理計画の策定や見直しを支援していくことを示しています。

5 東京都地域防災計画（震災編）

（1）概要

「東京都地域防災計画」は、災害対策基本法の規定に基づき、東京都防災会議が策定する計画です。都、区市町村、指定地方行政機関、自衛隊、指定公共機関、指定地方公共機関等の防災機関が、都の地域における地震災害の予防、応急対策及び復旧・復興対策を実施することにより、住民の生命、身体及び財産を保護することを目的としています。計画は、「震災編」、「風水害編」、「火山編」「大規模事故編」、「原子力災害編」の5編があります。本計画と関連の深い「震災編」は令和元(2019)年に修正されました。

（2）内容と構成

○第1部 東京の防災力の高度化に向けて

首都直下地震等の被害想定、減災目標等

○第2部 施策ごとの具体的計画（予防・応急・復旧計画）

都及び防災機関等が行う予防対策、都民及び事業者等が行うべき措置

地震発生後に都及び防災機関等がとるべき応急・復旧対策、災害救助法の適用等

○第3部 災害復興計画

被災者の生活再建や都市復興を図るための対策等

○第4部 南海トラフ地震等防災対策

南海トラフ地震等に対する島しょ（伊豆諸島及び小笠原諸島）の防災対策

東海地震事前対策（都内全域を対象とした警戒宣言等に関する計画）

（3）区市町村の役割

①基本理念

第2部第1章第1節の「都、区市町村等の基本的責務と役割」では、区市町村の理念を次のように定めています。

震災対策の推進に当たっては、区市町村が基礎自治体として第一義的責任と役割を果たすものである。その上で、広域的役割を担う東京都が区市町村及び国と一体となって、都民と連携し、都民や東京に集う多くの人々の生命・身体及び財産を守るとともに、首都東京の機能を維持しなければならない。

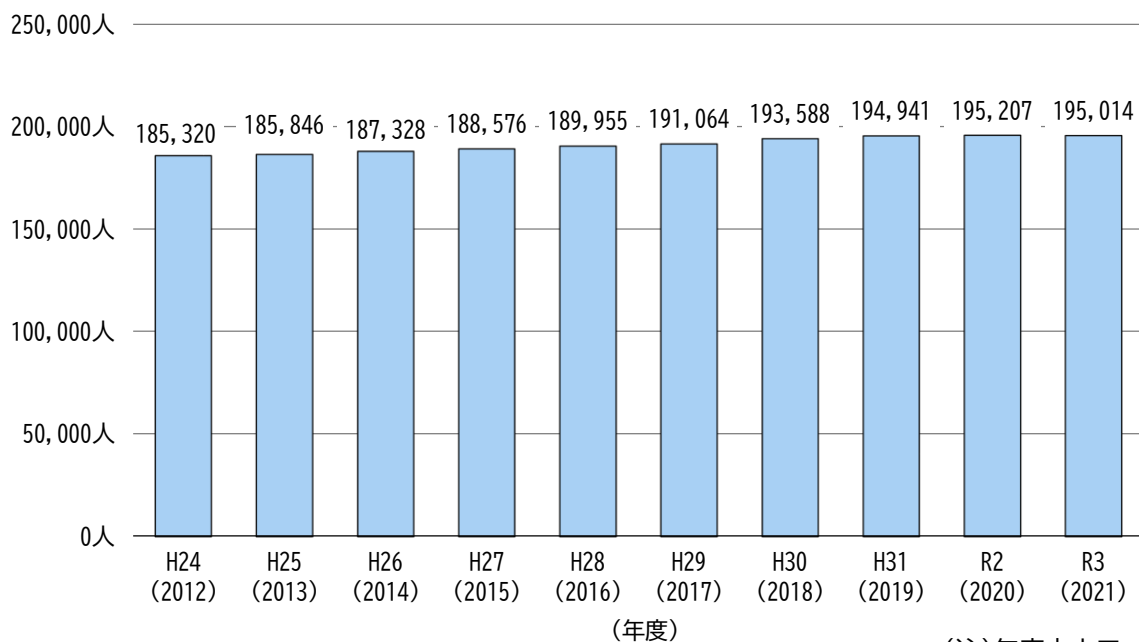
②区市町村の役割

- 区市町村防災会議に関すること。
- 防災に係る組織及び施設に関すること。
- 災害情報の収集及び伝達に関すること。
- 緊急輸送の確保に関すること。

資料2 人口と事業所の動向

1 人口動向

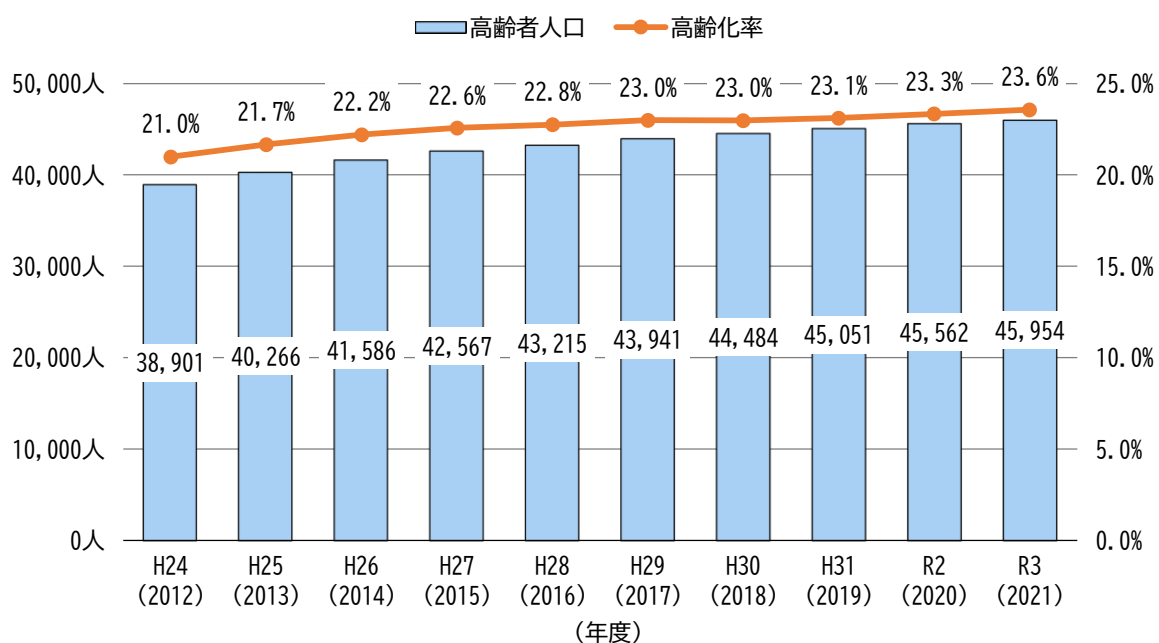
(1) 人口



(注)年度末人口

(資料)東京都の統計 住民基本台帳による世帯と人口

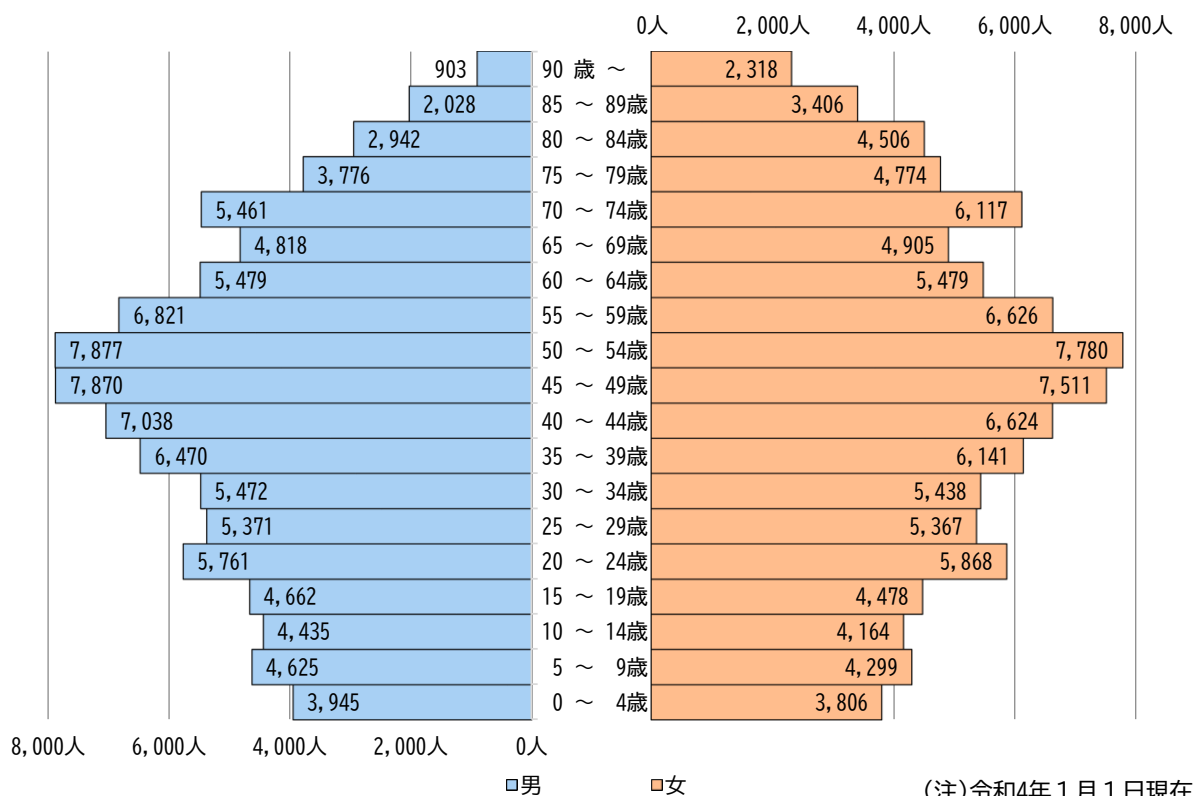
(2) 高齢者人口と高齢化率



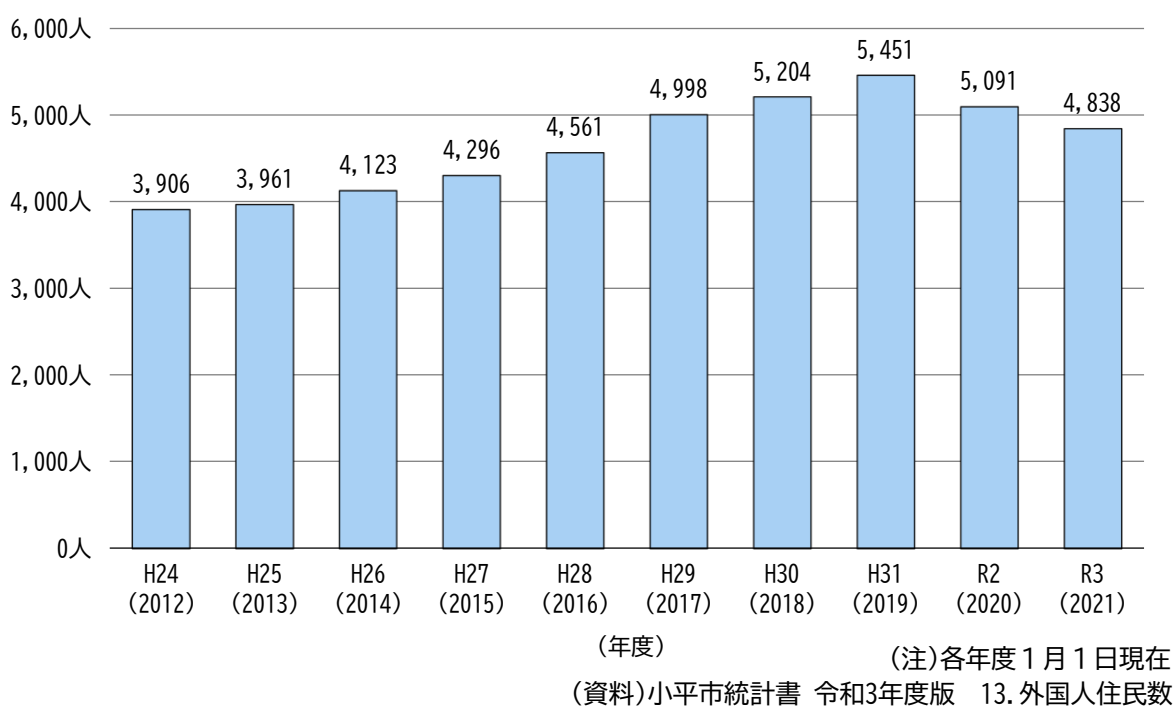
(注)各年度1月1日現在

(資料)小平市統計書 令和2年度版・令和3年度版 12. 年齢別人口

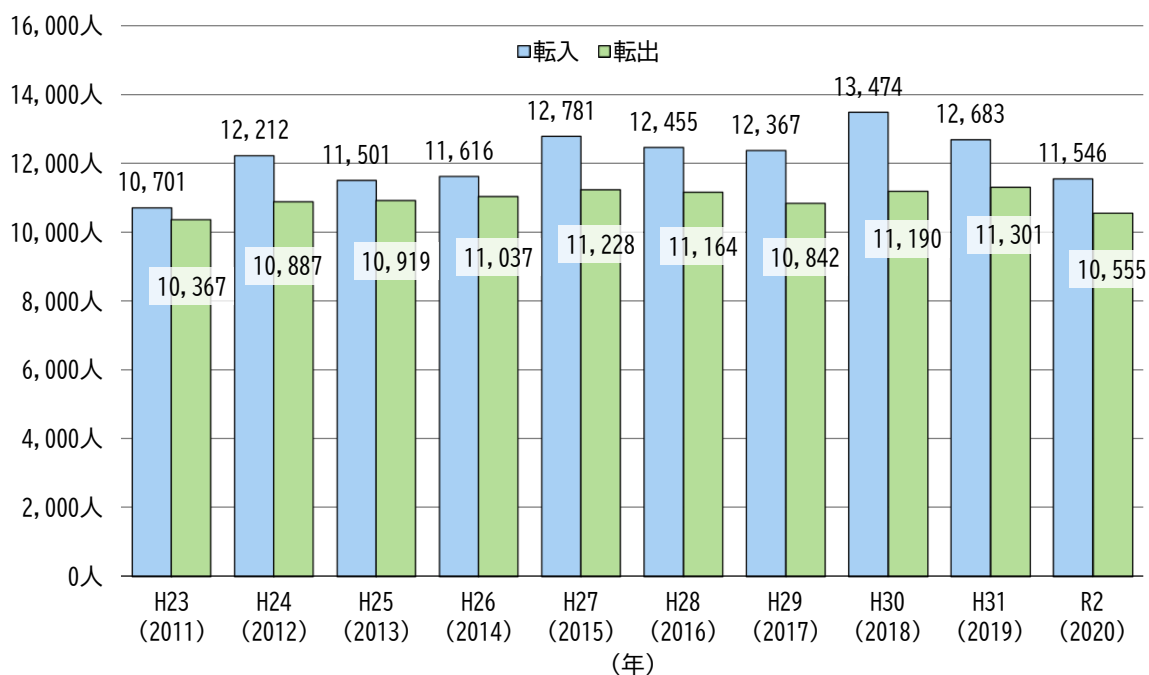
(3) 年齢（5歳階級）別人口



(4) 外国人人口



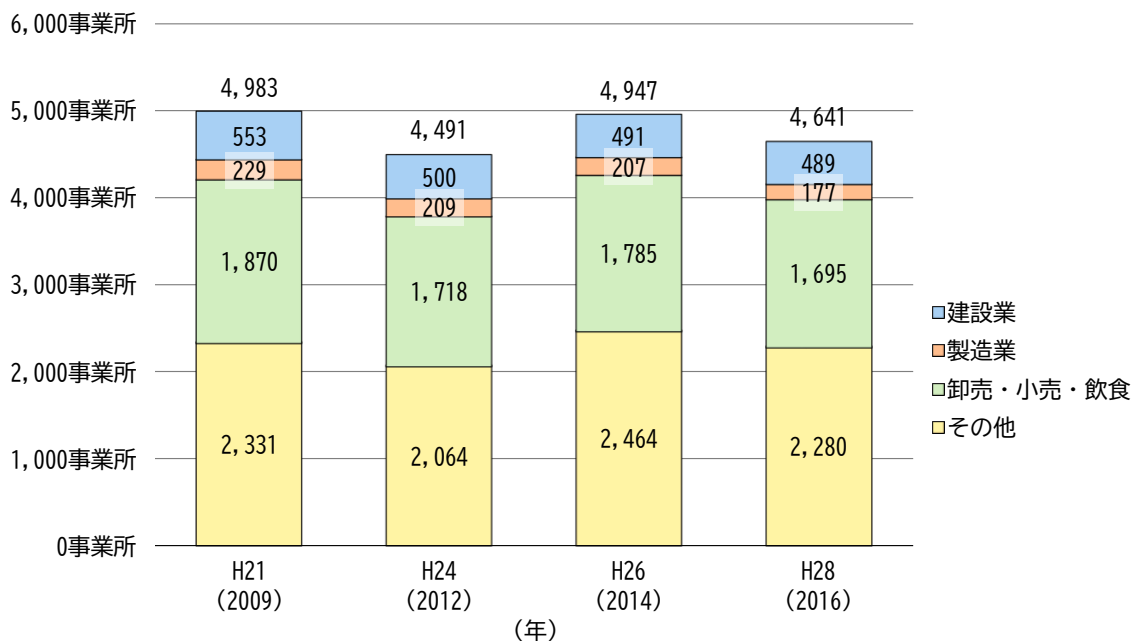
(5) 転入・転出人口



(資料)小平市統計書 平成23年度～令和3年度版 15. 都道府県別転出入人口

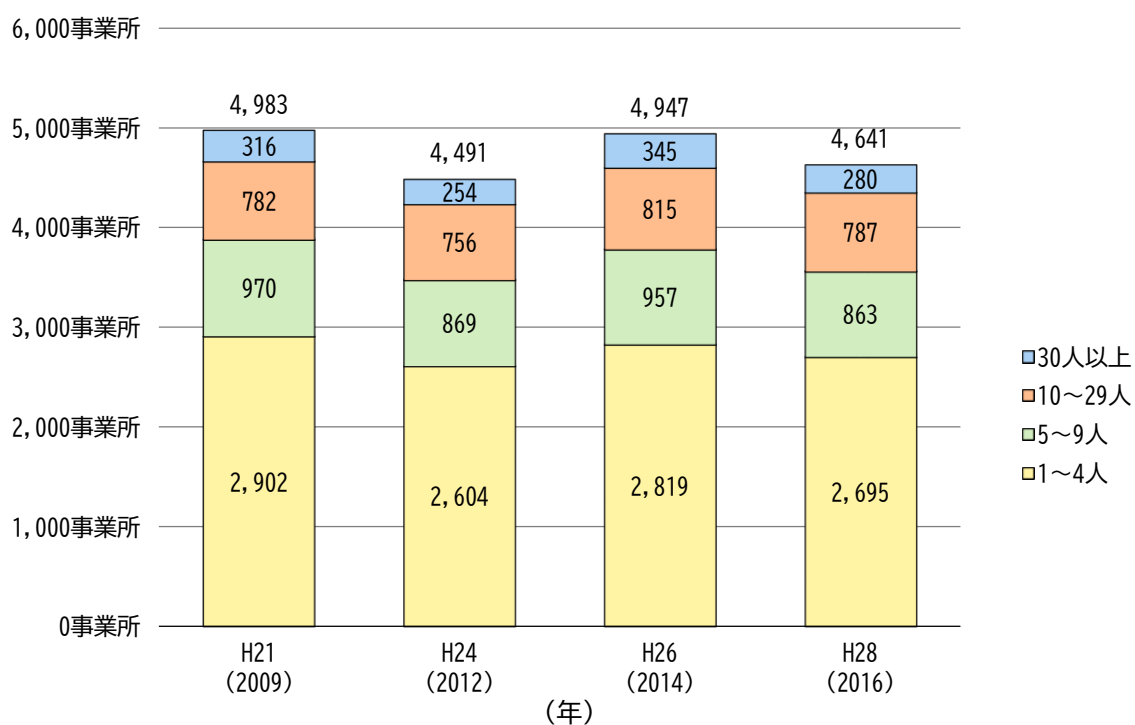
2 事業所の動向

(1) 業種別事業所数の推移と割合



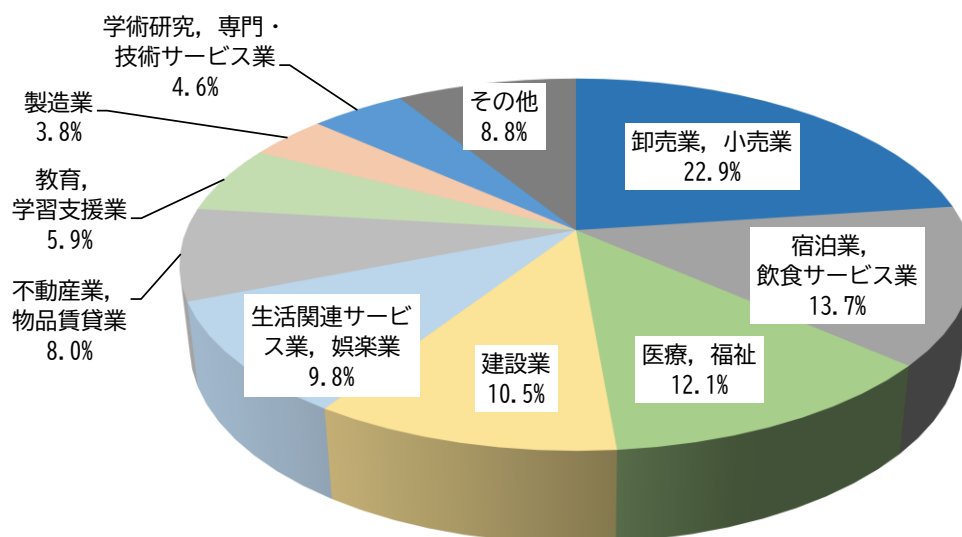
(資料)小平市統計書 令和3年度版 23. 事業所数の推移

(2) 従業者数別事業所数の推移と割合



(資料)小平市統計書 令和3年度版 24. 従業者規模別の状況

(3)



(注)平成28年(2016年)6月1日現在

(資料)小平市統計書 令和3年度版 23. 事業所数の推移

資料3 市民アンケート調査結果（抜粋）

問1 資源・ごみの分別・出し方の情報源についておうかがいします。

(1)あなたが、小平市の資源・ごみの分別・出し方について調べる方法として、あてはまるものをお答えください。
(○はいくつでも)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
冊子「資源とごみの出し方パンフレット・収集カレンダー」※	79.0%	92.8%	13.8%
冊子「分別をよりわかりやすく」	32.8%	32.6%	-0.2%
小平市「ごみ分別アプリ」	7.5%	22.2%	14.7%
市のホームページ	27.3%	16.9%	-10.4%
市役所や収集員に聞く	10.4%	7.5%	-2.9%
自治会やマンションの掲示板	—	3.0%	—
近隣の方や管理人に聞く	6.0%	1.1%	-4.9%
その他	3.6%	1.7%	-1.9%
調べたことや意識したことがない	1.5%	0.7%	-0.8%

※前回は『冊子「私のまちのごみと資源の出し方」』

(2)市では、「資源とごみの出し方パンフレット・収集カレンダー」※を作成し、年に1回全ての世帯に配布していますが、利用していますか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
利用している	67.7%	92.5%	24.8%
利用したことがある	17.4%	4.0%	-13.4%
持っているが利用したことがない	2.0%	1.6%	-0.4%
持っていない・知らなかった	12.2%	1.7%	-10.5%
不明	0.7%	0.3%	-0.4%

※前回は『冊子「私のまちのごみと資源の出し方」』

問2 資源・ごみの発生抑制についておうかがいします。

下の項目のなかで、普段、実践していることはありますか？(○はいくつでも)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
詰め替え商品を買う	86.8%	85.1%	-1.7%
マイバッグ・マイボトルを使用する	—	82.5%	—
食べ残しはなるべく出さない	60.9%	65.2%	4.3%
使いきれぬ量を購入する	49.9%	47.6%	-2.3%
手入れをしながら長く使う	—	36.7%	—
繰り返し使える商品を選ぶ	38.5%	35.8%	-2.7%
容器や包装が少ないものを選ぶ	27.3%	28.1%	0.8%
レンタルやシェアを行っている	—	1.4%	—
その他	1.2%	2.1%	0.9%
特に実践していることはない	1.2%	1.2%	0.0%

問3 再使用についておうかがいします。

下の項目のなかで、普段、実践していることはありますか？(○はいくつでも)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
リサイクルショップを利用する	38.4%	35.4%	-3.0%
古本店を利用する	38.3%	30.9%	-7.4%
不用品を知り合いと譲り合う	24.7%	22.2%	-2.5%
フリマアプリを利用する	—	18.8%	—
繰り返し使えるびんを利用する	21.1%	18.4%	-2.7%
バザー・フリーマーケットを利用する	21.1%	8.5%	-12.6%
スーパーなどの浄水サービスを利用する	7.4%	5.3%	-2.1%
市の生活用品交換情報を利用する	1.2%	1.7%	0.5%
その他	2.8%	3.8%	1.0%
特に実践していることはない	19.3%	25.0%	5.7%

問4 再生利用についておうかがいします。

下の品目のなかで、どのような資源再生品を購入していますか？(○はいくつでも)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
トイレトペーパーは古紙配合品を選ぶ	41.8%	39.0%	-2.8%
ティッシュペーパーは古紙配合品を選ぶ	21.1%	22.7%	1.6%
ノートやコピー用紙などの紙類は古紙配合品を選ぶ	21.5%	18.6%	-2.9%
洋服などは、ペットボトルからの再生品を選ぶ	1.5%	3.6%	2.1%
ボールペンやペンケースなどの文房具は、ペットボトルからの再生品を選ぶ	4.4%	2.3%	-2.1%
その他再生品を購入したことがある	4.9%	4.3%	-0.6%
特に意識して購入しているものはない	44.8%	48.6%	3.8%

問5 生ごみの減量やリサイクルについておうかがいします。

(1)ご家庭では、生ごみの水切りを行っていますか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
行っている	88.2%	88.7%	0.5%
行っていない	10.6%	10.4%	-0.2%
不明	1.3%	0.9%	-0.4%

(2)市の食物資源循環事業を知っていますか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
知っている	18.7%	23.3%	4.6%
知らなかった	79.5%	75.2%	-4.3%
不明	1.9%	1.6%	-0.3%

(3)この事業への参加についておうかがいします。(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
参加したい	35.4%	33.3%	-2.1%
参加したくない	49.5%	51.0%	1.5%
すでに参加している	2.3%	3.1%	0.8%
不明	12.8%	12.6%	-0.2%

(4)市の食物資源循環事業以外で、ご家庭では、生ごみの自家処理やリサイクルを行っていますか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
行っている	9.2%	8.9%	-0.3%
行ったことはない	84.5%	82.4%	-2.1%
以前は行っていたが、現在は行っていない	5.3%	7.3%	2.0%
不明	1.0%	1.5%	0.5%

問6 食品ロスについておうかがいします。

(1)食品ロスを出さないために、普段、あなたが行っていることはありますか？(○はいくつでも)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
食品は必要な分だけ買う	61.7%	68.8%	7.1%
「賞味期限」、「消費期限」の近い食品を早めに使う	65.1%	63.0%	-2.1%
食材を無駄なく使う	59.5%	61.0%	1.5%
飲食店では食べきれぬ量を注文する	53.8%	54.1%	0.3%
料理を作りすぎない	37.1%	38.2%	1.1%
その他	4.1%	3.4%	-0.7%
特に何もしていない	3.1%	2.7%	-0.4%

(4)あなたが食品(食材)を捨てた理由はなんですか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
色や見た目、においが変化してしまった	—	47.6%	—
消費期限が過ぎてしまった	—	24.7%	—
賞味期限が過ぎてしまった	—	17.2%	—
使う(食べる)機会がなかった	—	9.9%	—
人からもらったが、使わ(食べ)なかった	—	7.3%	—
別の用途で買ったものが余った	—	1.0%	—
その他	—	8.4%	—

(5)あなたは「消費期限」と「賞味期限」の違いを理解していますか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
言葉を知っており、それぞれの表示の意味も理解している	—	89.3%	—
言葉は知っているが、それぞれの表示の意味は理解していない	—	9.1%	—
そもそも言葉を知らない	—	0.0%	—
不明	—	1.6%	—

問7 プラスチック製容器包装の分別リサイクルについておうかがいします。

(1)小平市のプラスチック製容器包装の分別についてどのようにお考えですか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
わかりやすい	61.0%	68.5%	7.5%
わかりにくい	35.8%	28.3%	-7.5%
不明	3.1%	3.1%	0.0%

(2)プラスチック製容器包装の分別をどのくらい実施していますか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
分別をほとんど理解し、実施している	—	35.8%	—
不明なものは冊子等を確認しながら、実施している	—	53.9%	—
不明なものに関しては調べずに、燃やすごみとして捨てている	—	6.1%	—
水ですすぐことが必要なものに関しては手間となるので、燃やすごみとして捨てている	—	2.6%	—
分別が複雑なので、実施していない	—	0.4%	—
不明	—	1.2%	—

問9 家庭ごみの有料化及び戸別収集についておうかがいします。

(1)家庭ごみの有料化についてどのようにお考えですか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
ごみの減量効果があったので、理解できる	—	64.7%	—
減量以外の理由で、理解できる	—	7.0%	—
ごみ減量の効果があっても、理解できない	—	6.6%	—
理解できない	—	2.9%	—
どちらともいえない	—	13.8%	—
その他	—	3.0%	—
不明	—	2.1%	—

(2)指定収集袋(処理手数料)の購入について、どのように感じていますか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
負担に感じていない	—	12.4%	—
全くない訳ではないが、あまり負担に感じていない	—	24.0%	—
多少負担を感じるが、ごみの減量や分別の徹底に効果が出ているため許容できる	—	31.9%	—
分別や発生抑制を徹底しているが、少し負担に感じている	—	17.4%	—
負担と感じている	—	10.9%	—
その他	—	2.3%	—
不明	—	1.1%	—

(3)家庭ごみの有料化が実施されてから、あなたは、ごみになるものを買わないようにしたり、資源の分別徹底を図るなど、ごみの減量やリサイクルに対する取り組み方は変わりましたか？(○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
より積極的に取り組むようになった	—	69.6%	—
取り組み方は特に変わらなかった	—	28.2%	—
不明	—	2.2%	—

(5)ごみの戸別収集についておうかがいします。戸別収集についてどのような変化がありましたか？(○はいくつでも)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
以前に比べて、ごみ出しが楽になった	—	49.8%	—
個人でごみ出しするようになり、意識が高まった	—	33.6%	—
道路上のごみがなくなり街がきれいになった	—	26.0%	—
カラス等の被害が減った	—	25.7%	—
カラス等の被害が増えた	—	10.0%	—
近所付き合いが減少した	—	5.5%	—
家の前に出したごみを他人に見られ、ストレスを感じる	—	5.3%	—
それぞれの家でごみ出しするようになり、町的美観が損なわれた	—	4.6%	—
その他	—	19.8%	—

問10 ごみの減量や処理などについての満足度についておうかがいします。

(1)ごみの収集(収集回数) (○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
満足している	51.9%	44.5%	-7.4%
どちらかといえば満足している	39.1%	38.7%	-0.4%
どちらかといえば不満がある	3.8%	8.9%	5.1%
不満がある	0.8%	3.7%	2.9%
わからない	2.7%	2.1%	-0.6%
不明	1.7%	2.2%	0.5%

(2)ごみの収集(分別方法) (○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
満足している	—	41.1%	—
どちらかといえば満足している	—	44.9%	—
どちらかといえば不満がある	—	6.0%	—
不満がある	—	2.5%	—
わからない	—	3.0%	—
不明	—	2.5%	—

(3)ごみの減量や処理についての小平市からの情報公開・提供 (○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
満足している	18.1%	25.5%	7.4%
どちらかといえば満足している	37.0%	45.8%	8.8%
どちらかといえば不満がある	7.9%	5.6%	-2.3%
不満がある	2.3%	2.4%	0.1%
わからない	32.6%	18.3%	-14.3%
不明	2.1%	2.3%	0.2%

(4)ごみの減量や処理への小平市の取り組み (○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
満足している	21.1%	29.5%	8.4%
どちらかといえば満足している	37.0%	44.7%	7.7%
どちらかといえば不満がある	5.0%	4.2%	-0.8%
不満がある	1.9%	2.3%	0.4%
わからない	32.8%	17.2%	-15.6%
不明	2.2%	2.2%	0.0%

(5)住んでいる地域の清潔さ (○は1つ)

選択肢	前回調査	今回調査	増減
満足している	38.4%	38.3%	-0.1%
どちらかといえば満足している	46.8%	48.0%	1.2%
どちらかといえば不満がある	7.1%	4.4%	-2.7%
不満がある	2.4%	3.0%	0.6%
わからない	3.8%	4.4%	0.6%
不明	1.5%	1.8%	0.3%

問 11 次のそれぞれの項目についてのお考えがあれば、自由にご記入下さい。

(1) ご家庭で取り組んでいるごみ減量やリサイクルの工夫

大分類	小分類	意見数
発生抑制	無駄なものは買わない	60
	マイバッグ・マイボトルを使う	9
	レジ袋等を断る	6
	詰め替え製品を使う	12
	過剰包装のものは買わない	4
	食品ロスを減らす	41
	生ごみの水切り等の減量	34
	プラスチック製品の発生抑制	21
	紙製品の発生抑制	6
	衣類の発生抑制	3
	その他発生抑制	5
	再使用	リサイクルショップ
フリマアプリ		7
フリーマーケット		1
知人に譲る		3
大切に修理して使う		4
プラスチックの再使用		2
古紙の再使用		8
布類の再使用		17
その他		7
リサイクル		分別の徹底
	店頭回収	26
	拠点回収	1
	プラスチックのリサイクル	12
	古紙のリサイクル	17
	布類のリサイクル	4
	その他	4
	その他	9
合計		356

(2) 分別がわからなくて困っているもの

分別区分	品目名等	意見数
可燃		6
不燃	製品プラスチック	5
	複合品	4
	中身の残ったもの	3
	危険なもの	4
	家電製品	13
	その他	1
プラスチック		12
粗大		17
資源	紙類	11
	金属	13
	びん	8
	布類	3
	その他	5
有害		7
可燃・不燃	プラスチック	10
	複合品	38
	中身の残ったもの	3
	その他	2
可燃・プラスチック	プラスチック製容器包装	10
	製品プラスチック	20
	汚れ・ラベル付着	39
不燃・プラスチック	プラスチック製容器包装	7
	製品プラスチック	6
	複合品	1
	汚れ・ラベル付着	3
収集不適物		17
その他		4
	合計	272

(3) プラスチック削減のために取り組んでいること

内容	意見数
プラスチック以外の素材の選択	30
スプーンやストローなどの付属品をもらわない	14
プラスチック容器でないものを選択	6
ペットボトル以外の容器を選択	14
詰め替え商品を選択	44
簡易包装を選択	18
マイバッグ等を持参しレジ袋等を断る	41
トレイ以外の容器を選択	23
不用品は買わない	21
マイボトルを持参	17
ラップを使わない	3
惣菜やテイクアウトは利用しない	12
再使用している	5
その他	4
合計	252

(4) 其他のご意見やご要望

大分類	小分類	意見数
発生抑制・再使用	資源化事業	7
	生ごみ	3
	プラスチック	5
	その他	4
リサイクル	プラスチックの汚れ	5
	プラスチック洗浄による水の環境負荷	3
	拠点回収場所の増加	7
	拠点回収品目の増加	2
	分別収集対象品目増加	5
	分別収集の関すること	7
	その他	16
収集しないもの		9
普及啓発。情報提供・教育	アプリ・LINE・HP	6
	カレンダーの有用性	5
	詳しく・わかりやすく	14
	リサイクル先・処理先	4
	その他	13
家庭ごみ有料化	無料にしてほしい	6
	一定量以下は無料にしてほしい	2
	プラスチックは無料にしてほしい	3
	安くしてほしい	43
	その他	4
戸別収集	肯定的な意見	2
	否定的な意見	3
	旧集積所の活用	6
集積所	鳥獣被害	10
	その他	3
ごみ収集	取り残し	7
	収集時間	5
	収集方法	3
	粗大ごみ	5
	その他	3
ごみの出し方・モラル・不法投棄		29
指定袋	丈夫にしてほしい	10
	他のサイズを作ってほしい	9
	大きなものが入らない	4
	ばら売り	5
	その他	8
収集回数の増加		46
拡大生産者責任・企業責任	プラスチック	7
	複合品	2
	その他	5
感謝・満足		29
アンケートに関すること		13
その他		37
合計		424

資料4 ごみ組成分析調査結果（抜粋）

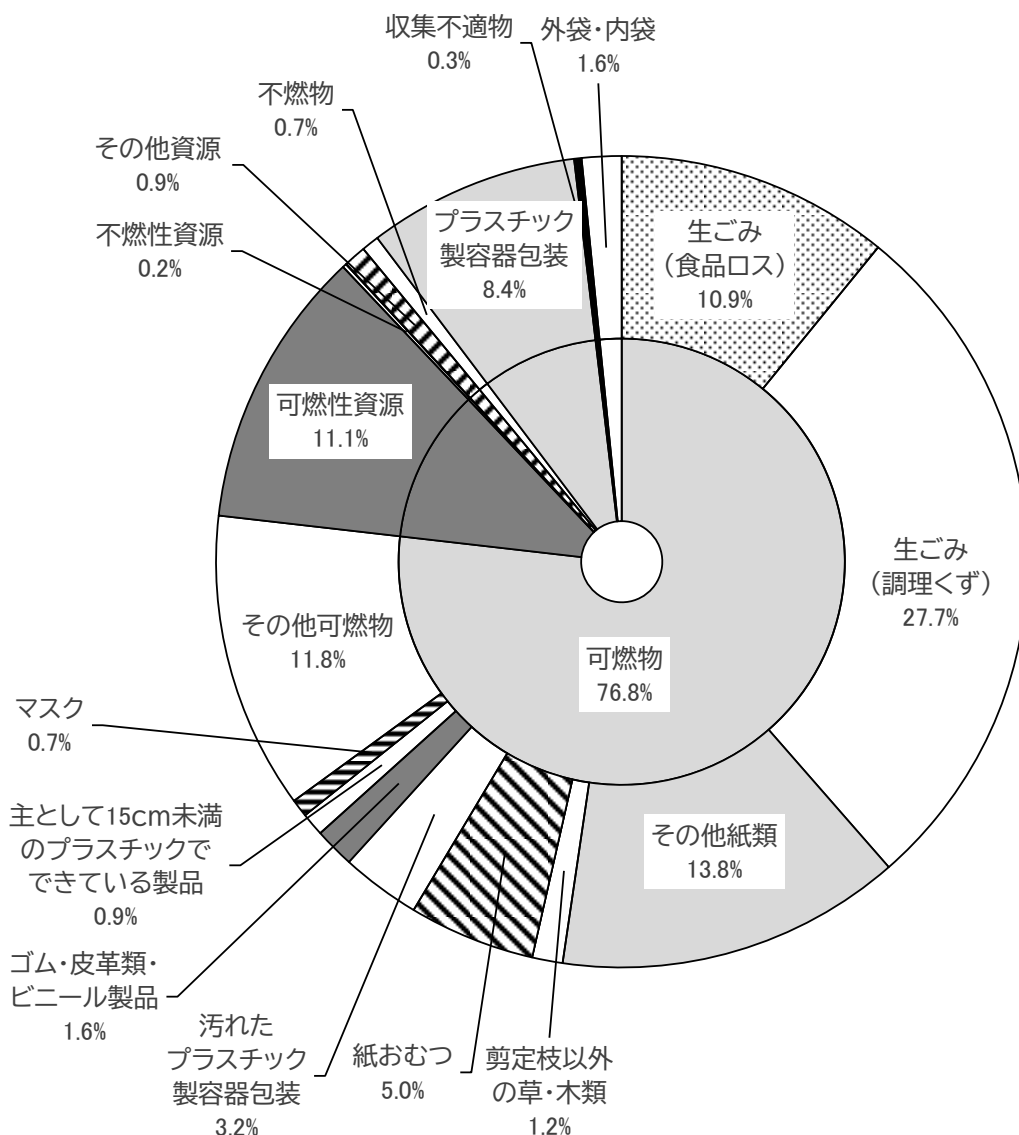
1 燃やすごみ

燃やすごみのうち、分別が適正なものは78.4%である。内訳は、可燃物が76.8%、外袋・内袋が1.6%である。

一方、分別が不適正なものは21.6%である。内訳は、可燃性資源が11.1%、プラスチック製容器包装が8.4%、その他資源が0.9%、不燃物が0.7%、収集不適物が0.3%、不燃性資源が0.2%である。

可燃物の品目の内訳は、生ごみ（調理くず）が27.7%で最も多く、次いで、その他紙類が13.8%、生ごみ（食品ロス）が10.9%、紙おむつが5.0%などの順である。

住居形態別の分別が適正なものの割合は、戸建が84.9%で最も高く、次いで、6階建以上集合住宅が77.0%、1・2階建集合住宅が70.2%、3～5階建集合住宅が67.4%の順である。



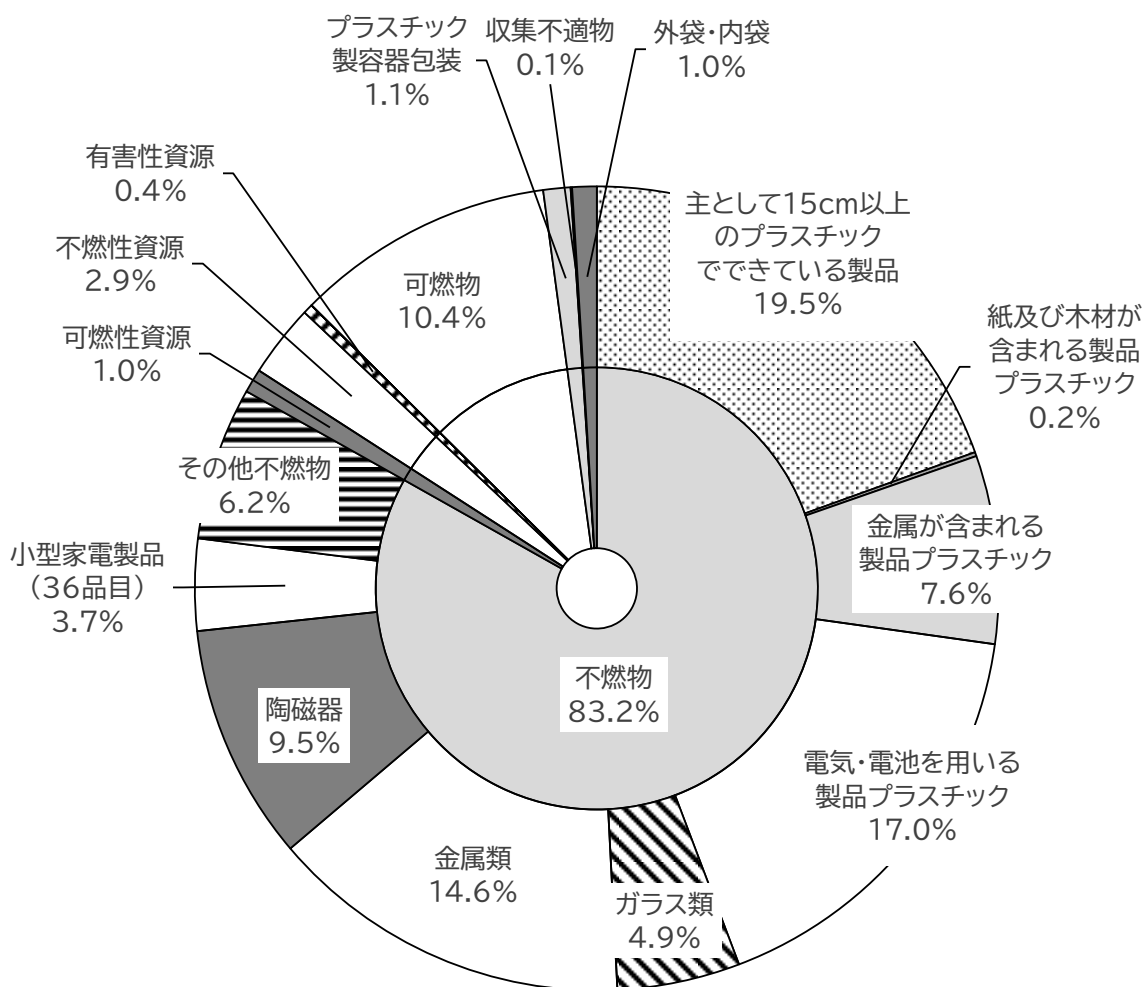
2 燃やさないごみ

燃やさないごみのうち、分別が適正なものは84.1%である。内訳は、不燃物が83.2%、外袋・内袋が1.0%である。

一方、分別が不適正なものは15.9%である。内訳は、可燃物が10.4%、不燃性資源が2.9%、プラスチック製容器包装が1.1%、可燃性資源が1.0%、有害性資源が0.4%、収集不適物が0.1%である。

不燃物の品目の内訳は、主として15cm以上のプラスチックでできている製品が19.5%で最も多く、次いで、電気・電池を用いる製品プラスチックが17.0%、金属類が14.6%、陶磁器が9.5%などの順である。

住居形態別の分別が適正なものの割合は、3～5階建集合住宅が86.6%で最も高く、次いで、1・2階建集合住宅が84.1%、戸建が83.7%、6階建以上集合住宅が82.3%の順である。



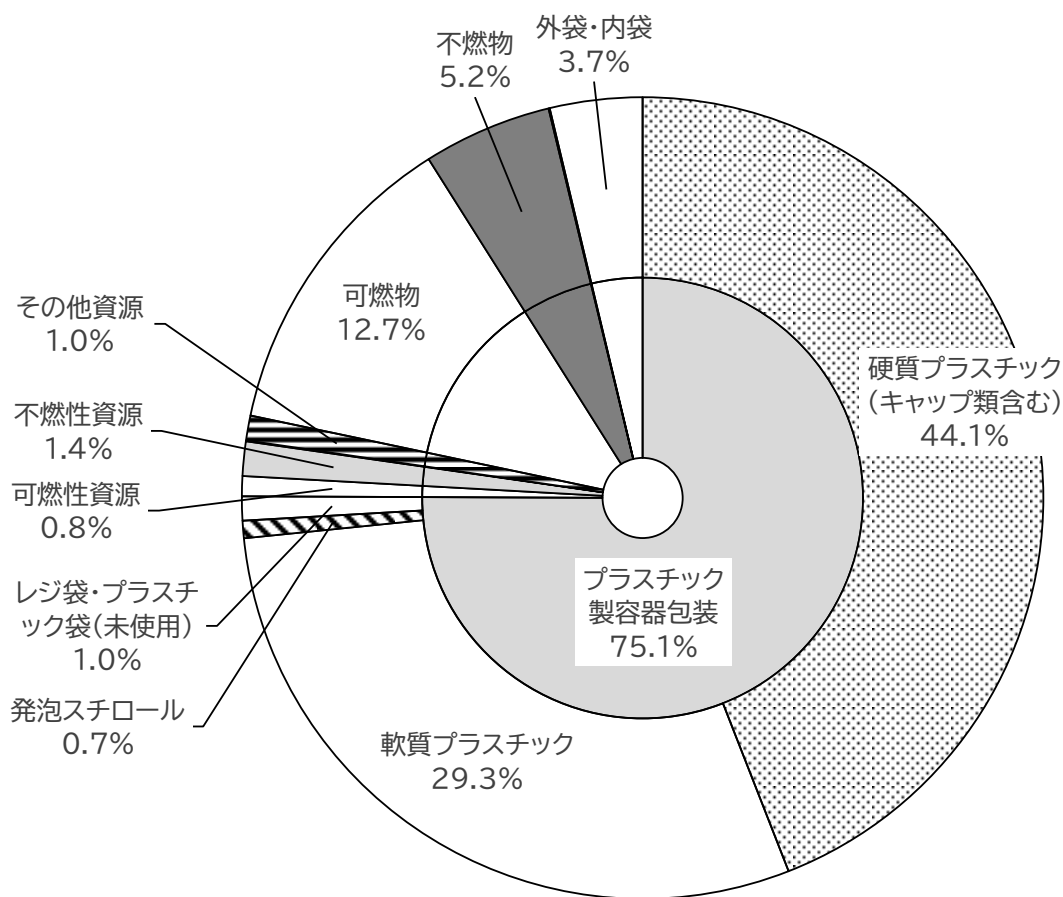
3 プラスチック製容器包装

プラスチック製容器包装のうち、分別が適正なものは78.8%である。内訳は、プラスチック製容器包装が75.1%、外袋・内袋が3.7%である。

一方、分別が不適正なものは21.2%である。可燃物が12.7%、不燃物が5.2%、不燃性資源が1.4%、その他資源が1.0%、可燃性資源が0.8%である。

プラスチック製容器包装の品目の内訳は、硬質プラスチック（キャップ類含む）が44.1%で最も多く、次いで、軟質プラスチックが29.3%、レジ袋・プラスチック袋（未使用）が1.0%、発泡スチロールが0.7%の順である。

住居形態別の分別が適正なものの割合は、戸建が83.9%で最も高く、次いで、6階建以上集合住宅が82.8%、1・2階建集合住宅が74.4%、3～5階建集合住宅が65.4%の順である。

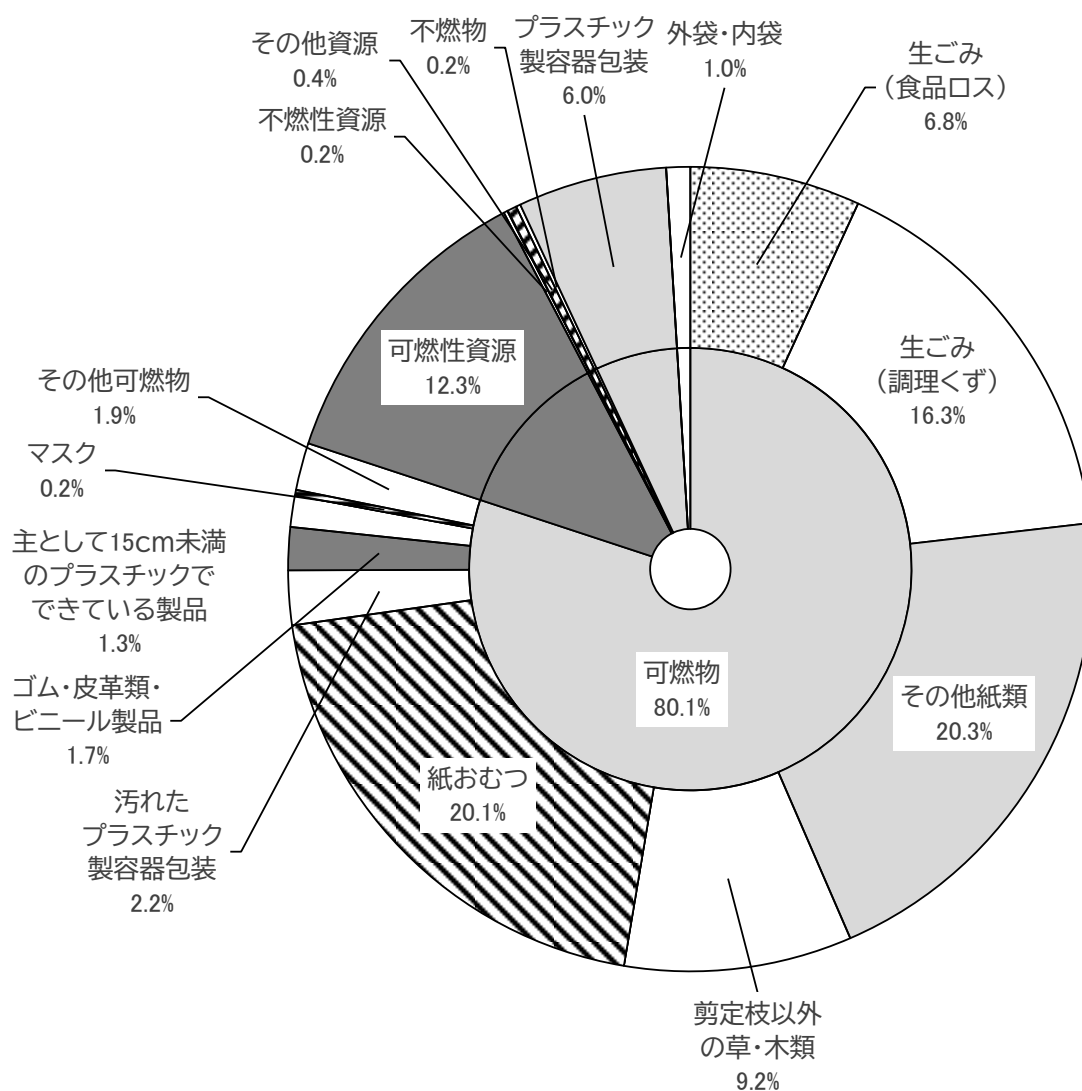


4 事業系の燃やすごみ

事業系の燃やすごみのうち、分別が適正なものは81.0%である。内訳は、可燃物が80.1%、外袋・内袋が1.0%である。

一方、分別が不適正なものは19.0%である。内訳は、可燃性資源が12.3%、プラスチック製容器包装が6.0%、その他資源が0.4%、不燃性資源と不燃物が0.2%である。

可燃物の品目の内訳は、その他紙類が20.3%で最も多く、次いで、紙おむつが20.1%、生ごみ（調理くず）が16.3%などの順である。



資料5 廃棄物のフローと将来推計

1 家庭資源・ごみのフロー推計

一般廃棄物処理基本計画の策定に際しては、ごみの減量目標と減量目標を達成するための具体的施策を検討する必要がある。

そのための基礎資料として、小平市の資源・ごみ量、組成分析調査、市民アンケート調査などより、家庭から排出される資源・ごみの品目別のフローを推計する。

(1) 資源・ごみ量

収集ごみには一部事業系ごみが含まれているが、その割合は少量と推測されることから、収集ごみはすべて家庭ごみとして推計する。

資源は、集団回収、行政回収(集積所回収、店頭回収、拠点回収など)、食物資源循環事業などである。

表-1 令和3(2021)年度の資源・ごみ量

		収集ごみ	集団回収	行政回収	資源合計	資源・ ごみ 合計
ごみ	燃やすごみ	27,596				27,596
	燃やさないごみ	1,629				1,629
	粗大ごみ	1,348				1,348
	ごみ合計	30,573				30,573
資源	アルミ缶		40	297	337	337
	スチール缶			179	179	179
	生きビン			18	18	18
	カレット			1,262	1,262	1,262
	新聞(持込み含む)		419	638	1,057	1,057
	雑誌・雑がみ		560	3,348	3,908	3,908
	段ボール		628	2,007	2,635	2,635
	古布		98	846	944	944
	わた			106	106	106
	牛乳パック		7	7	14	14
	白色トレイ					
	ペットボトル			484	484	484
	その他プラスチック			1,888	1,888	1,888
	金属類		16	96	112	112
	優良粗大ごみ			41	41	41
	有害資源			69	69	69
	剪定枝			17	17	17
	食物資源一次処理物			23	23	23
	食物資源循環事業			91	91	91
	キャップ					
	その他(鍋など)			61	61	61
	陶磁器			11	11	11
	スプレー・ガス缶			43	43	43
ライター			3	3	3	
小型家電			7	7	7	
小計			1,769	11,542	13,311	13,311
合計		30,573	1,769	11,542	13,311	43,884

(2) 組成分析調査結果による収集ごみの按分

令和3(2021)年度の「燃やすごみ」「燃やさないごみ」のごみ量を、令和3(2021)年度に実施したごみ組成分析調査結果で按分することで、品目別のごみ量を推計した。

表-2 「燃やすごみ」「燃やさないごみ」の品目別のごみ量

		割合			推計量(t/年)		
		燃やすごみ	燃やさないごみ	プラスチック製容器包装	燃やすごみ	燃やさないごみ	プラスチック製容器包装
可燃性資源	新聞紙・折込広告	0.4%	0.1%	0.0%	101	2	0
	雑誌・書籍	0.5%	0.0%	0.0%	124	0	0
	段ボール	0.4%	0.0%	0.1%	114	0	2
	雑紙	6.2%	0.6%	0.6%	1,699	11	11
	シュレッダー紙	0.0%	0.0%	0.0%	11	0	0
	古布(古着)・ふとん	3.0%	0.1%	0.1%	841	1	3
	ぬいぐるみ等	0.7%	0.1%	0.0%	181	2	0
不燃性資源	ガラスびん	0.0%	1.1%	0.0%	5	18	0
	缶類	0.0%	0.6%	0.1%	8	9	1
	ペットボトル	0.1%	0.0%	1.3%	31	0	25
	金属製のなべ・やかん・フライパン・ボウル・ざる	0.0%	1.2%	0.0%	0	20	0
有害性資源	スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター(中身なし)	0.0%	0.2%	0.0%	6	4	0
	スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター(中身あり)	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0
	蛍光管	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0
	乾電池	0.0%	0.1%	0.0%	1	2	1
	水銀体温計(血圧計)・温度計	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0
		紙パック	0.9%	0.0%	0.1%	239	0
その他資源	剪定枝	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0
	白色トレイ	0.0%	0.0%	0.9%	4	0	17
可燃物	生ごみ(直接廃棄)	7.7%	0.3%	3.2%	2,117	4	60
	生ごみ(食べ残し)	3.2%	0.0%	0.0%	888	0	0
	生ごみ(調理くず)	27.7%	0.0%	0.0%	7,637	0	0
	その他紙類	13.8%	0.0%	0.6%	3,798	0	11
	剪定枝以外の草・木類	1.2%	0.6%	0.2%	336	9	3
	インクリボン・カートリッジ	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0
	紙おむつ	5.0%	0.0%	0.0%	1,387	0	0
	汚れたプラスチック製容器包装	3.2%	1.0%	3.4%	874	16	64
	ゴム・皮革類・ビニール製品	1.6%	2.4%	0.0%	440	39	1
	主として15cm未満のプラスチックでできている製品	0.9%	5.2%	4.3%	255	84	81
	テープ類	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0
マスク	0.7%	0.0%	0.0%	196	0	1	
その他可燃物	11.8%	1.0%	1.0%	3,270	17	19	
不燃物	主として15cm以上のプラスチックでできている製品	0.2%	19.5%	3.3%	54	318	62
	紙及び木材が含まれる製品プラスチック	0.0%	0.2%	0.0%	0	3	0
	金属が含まれる製品プラスチック	0.1%	7.6%	0.7%	30	123	13
	電気・電池を用いる製品プラスチック	0.1%	17.0%	0.2%	37	277	4
	ガラス類	0.0%	4.9%	0.1%	0	80	1
	金属類	0.2%	14.6%	0.6%	55	238	11
	陶磁器	0.0%	9.5%	0.1%	0	155	1
	小型家電製品(36品目)	0.0%	3.7%	0.2%	4	60	4
	その他不燃物	0.0%	6.2%	0.0%	14	100	1
プラスチック製容器包装	硬質プラスチック(キャップ類含む)	2.0%	0.7%	44.1%	556	12	832
	軟質プラスチック	6.3%	0.3%	29.3%	1,740	5	554
	発泡スチロール	0.0%	0.1%	0.7%	0	1	13
	レジ袋・プラスチック袋(未使用)	0.1%	0.0%	1.0%	26	0	18
収集不適物	収集不適物	0.3%	0.1%	0.0%	81	1	1
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	0.7%	0.2%	0.7%	202	3	13
	指定収集袋(外袋)	0.9%	0.8%	3.0%	235	13	57
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	27,596	1,629	1,888

(3) 家庭資源・ごみのフロー推計

新聞販売店回収やペットボトルの店頭回収など、小平市で把握していないデータについては、行政回収量のデータと、市民アンケート調査の回答割合から推計した。

行政回収の雑誌・書籍には、菓子箱、包装紙、封筒、チラシなどの「雑がみ」が含まれている。平成 23(2011)年 6 月に実施した紙製容器包装リサイクル推進協議会による小平市の組成分析調査結果より、「雑誌・書籍」の 32%を「雑がみ」と推計した。

以上より、小平市の家庭資源・ごみのフロー推計を表-3 に示す。一般廃棄物処理基本計画の減量目標の設定に際しては、次の品目に着目する必要がある。

○雑紙

菓子箱、包装紙、封筒、チラシなどの「雑紙」は、1,220t がリサイクルされているが、発生量の 58.4%にあたる 1,710t がごみとして捨てられている。

○食品ロス

燃やせるごみの中には、食べられるのに捨ててしまう「直接廃棄」が 2,117t(7.7%)、食卓に上がったが食べなかった「食べ残し」が 888t(3.2%)、合計で 3,005t(10.9%)の食品ロスがごみとして捨てられている。

○生ごみ（調理くず）

燃やせるごみの中で最も多いのは、調理くず 7,636t(27.7%)で、生ごみ全体では 10,641t(38.6%)である。

○プラスチック製容器包装

プラスチック製容器包装のうち、ボトルやカップ・パックなどの「硬質プラスチック」は 59.5%が分別収集に排出されているが、袋やフィルムなどの「軟質プラスチック」は 24.1%が分別収集に排出されているに過ぎない。

プラスチック製容器包装の収集量 1,888t のうち、分別が適正なものは 1,419t に過ぎず、残りの 469t は可燃物など異物である。

表-3 家庭資源・ごみのフロー推計

単位(t/年)

		燃やす ごみ	燃やさ ない ごみ	粗大 ごみ	プラス チック製 容器包装 (異物)	ごみ 合計	資源量 (自家処 理含む)	資源・ ごみ 合計	資源化 率
可燃性資源	新聞紙・折込広告	101	2	0	0	103	2,426	2,529	95.9%
	雑誌・書籍	124	0	0	0	124	2,739	2,863	95.7%
	段ボール	114	0	0	2	114	2,635	2,749	95.9%
	雑紙	1,699	11	0	11	1,710	1,251	2,961	42.2%
	シュレッダー紙	11	0	0	0	11	0	11	0.0%
	古布(古着)・ふとん	841	1	0	3	842	944	1,786	52.9%
	ぬいぐるみ等	181	2	0	0	183	106	289	36.7%
不燃性資源	ガラスびん	5	18	0	0	23	1,300	1,323	98.3%
	缶類	8	9	0	1	17	558	575	97.0%
	ペットボトル	31	0	0	25	31	736	767	96.0%
	金属製のなべ・やかん・フライパン・ボウル・ざる	0	20	0	0	20	61	81	75.3%
有害性資源	スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター(中身なし)	6	4	0	0	10	46	56	82.1%
	スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター(中身あり)	0	0	0	0	0	0	0	
	蛍光管	0	0	0	0	0	0	0	
	乾電池	1	2	0	1	3	69	72	95.8%
	水銀体温計(血圧計)・温度計	0	0	0	0	0	0	0	
その他資源	紙バック	239	0	0	1	239	36	275	13.1%
	剪定枝	0	0	0	0	0	17	17	100.0%
	白色トレイ	4	0	0	17	4	29	33	87.9%
可燃物	生ごみ(直接廃棄)	2,117	4	0	60	2,121	0	2,121	0.0%
	生ごみ(食べ残し)	888	0	0	0	888	0	888	0.0%
	生ごみ(調理くず)	7,636	0	0	0	7,636	133	7,769	1.7%
	その他紙類	3,798	0	0	11	3,798	0	3,798	0.0%
	剪定枝以外の草・木類	336	9	0	3	345	0	345	0.0%
	インクリボン・カートリッジ	0	0	0	0	0	0	0	
	紙おむつ	1,387	0	0	0	1,387	0	1,387	0.0%
	汚れたプラスチック製容器包装	874	16	0	64	890	0	890	0.0%
	ゴム・皮革類・ビニール製品	440	39	0	1	479	0	479	0.0%
	主として15cm未満のプラスチックでできている製品	255	84	0	81	339	0	339	0.0%
	テープ類	0	0	0	0	0	0	0	
	マスク	196	0	0	1	196	0	196	0.0%
	その他可燃物	3,270	17	0	19	3,287	0	3,287	0.0%
不燃物	主として15cm以上のプラスチックでできている製品	54	320	0	62	374	0	374	0.0%
	紙及び木材が含まれる製品プラスチック	0	3	0	0	3	0	3	0.0%
	金属が含まれる製品プラスチック	30	123	0	13	153	0	153	0.0%
	電気・電池を用いる製品プラスチック	37	277	0	4	314	0	314	0.0%
	ガラス類	0	80	0	1	80	0	80	0.0%
	金属類	55	238	0	11	293	112	405	27.7%
	陶磁器	0	155	0	1	155	11	166	6.6%
	小型家電製品(36品目)	4	60	0	4	64	8	72	11.1%
	その他不燃物	14	100	0	1	114	0	114	0.0%
プラスチック製容器包装	硬質プラスチック(キャップ類含む)	556	12	0		568	834	1,402	59.5%
	軟質プラスチック	1,740	5	0		1,745	554	2,299	24.1%
	発泡スチロール	0	1	0		1	13	14	92.9%
	レジ袋・プラスチック袋(未使用)	26	0	0		26	18	44	40.9%
収集不適物	収集不適物	81	1	0	1	82	0	82	0.0%
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	202	3	0	13	205	0	205	0.0%
	指定収集袋(外袋)	235	13	0	57	248	0	248	0.0%
粗大ごみ				1,348		1,348	41	1,389	3.0%
	合計	27,596	1,629	1,348	469	30,573	14,678	45,251	32.4%

2 資源・ごみ量の将来推計

(1) 推計方法

○各年度の人口・従業者数推計

各年度の人口は、「小平市人口推計報告書(平成27年国勢調査による)補足版」(令和元(2019)年8月)から推計する。

各年度の従業者数は、「東京都就業者数の予測」(令和2(2020)年10月)から推計する。

○現状施策で推移した資源・ごみ量の推計

収集ごみ、持込粗大、資源は家庭から排出されるものとし、令和3(2021)年度の資源・ごみ量に、令和3(2021)年度の人口を1とした各年度の係数を乗じて推計する。

持込の燃えるごみと燃えないごみは事業系とし、令和3(2021)年度の従業者数を1とした各年度の係数を乗じて推計する。

○減量シナリオの設定

家庭資源・ごみのフロー推計などをもとに、減量シナリオと各年度の減量効果を推計する。

○目標資源・ごみ量

現状で推移した場合の資源・ごみ量から減量シナリオに基づく各年度の減量効果を差し引いて、目標資源・ごみ量を設定する。

(2) 各年度の人口・従業者数推計

①人口推計

「小平市人口推計報告書(平成27年国勢調査による)補足版」(令和元(2019)年8月)の5年ごとの推計値から、あいだの年度を直線式で補完して推計し、令和3(2021)年度を1とした各年度の係数を算定した。

表-4 将来人口推計

年度	市人口推計 (人)	市人口推計 補完値(人)	令和3年を1と した係数	平成28年度末 人口を基準に 推計した人口
R2	196,165	196,165		
R3		196,378	1.0000	195,014
R4		196,591	1.0011	195,226
R5		196,805	1.0022	195,437
R6		197,018	1.0033	195,649
R7	197,231	197,231	1.0043	195,861
R8		196,860	1.0025	195,492
R9		196,488	1.0006	195,123
R10		196,117	0.9987	194,754
R11		195,745	0.9968	194,386
R12	195,374	195,374	0.9949	194,017
R13		194,669	0.9913	193,316
R14		193,964	0.9877	192,616
R15		193,258	0.9841	191,916
R16		192,553	0.9805	191,216
R17	191,848	191,848	0.9769	190,515

②従業者数推計

「東京都就業者数の予測」（令和 2(2020)年 10 月)による 5 年ごとの推計値から、あいだの年度を直線式で補完して推計し、令和 3(2021)年度を 1 とした各年度の係数を算定した。

表-5 将来従業者数推計

年度	東京都予測 (人)	補完値(人)	令和3年を1と した係数
R2	66,518	66,518	
R3		66,485	1.0000
R4		66,452	0.9995
R5		66,420	0.9990
R6		66,387	0.9985
R7	66,354	66,354	0.9980
R8		66,197	0.9957
R9		66,040	0.9933
R10		65,884	0.9910
R11		65,727	0.9886
R12	65,570	65,570	0.9862
R13		65,301	0.9822
R14		65,032	0.9781
R15		64,762	0.9741
R16		64,493	0.9700
R17	64,224	64,224	0.9660

(3) 現状施策で推移した資源・ごみ量の推計

令和3(2021)年度の資源・ごみ量に、令和3(2021)年度を1とした人口と従業者数の係数を乗じて、各年度の資源・ごみ量を推計した。

各年度の家庭資源・ごみ量

= 令和3(2021)年度の資源・ごみ量 × 令和3(2021)年度の人口を1とした係数

各年度の事業系ごみ

= 令和3(2021)年度のごみ量 × 令和3(2021)年度の従業者数を1とした係数

表-6 令和3(2021)年度の資源・ごみ量

年度	収集			持込			資源	
	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	集団回収	行政回収
R3	27,596	1,629	1,348	4,048	34	26	1,769	11,542

表-7 現状で推移した場合の各年度の資源・ごみ量

年度	収集ごみ			持込ごみ			資源	
	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	集団回収	行政回収
R3	27,596	1,629	1,348	4,048	34	26	1,769	11,542
R4	27,626	1,631	1,349	4,046	34	26	1,770	11,555
R5	27,656	1,633	1,351	4,044	34	26	1,772	11,567
R6	27,686	1,634	1,352	4,042	34	26	1,774	11,580
R7	27,716	1,636	1,354	4,040	34	26	1,776	11,592
R8	27,664	1,633	1,351	4,030	34	26	1,773	11,570
R9	27,611	1,630	1,349	4,021	34	26	1,769	11,548
R10	27,559	1,627	1,346	4,011	34	26	1,766	11,527
R11	27,507	1,624	1,344	4,002	34	26	1,763	11,505
R12	27,455	1,621	1,341	3,992	34	26	1,759	11,483
R13	27,356	1,615	1,336	3,976	33	26	1,753	11,442
R14	27,257	1,609	1,331	3,959	33	26	1,747	11,400

年度	収集ごみ小計	持込ごみ小計	ごみ合計	資源合計	資源・ごみ合計	排出物原単位		処理ごみ量原単位	
						原単位(g/人日)	R3を1とした係数	原単位(g/人日)	R3を1とした係数
R3	30,573	4,108	34,681	13,311	47,992	674	1.0000	487	1.0000
R4	30,606	4,106	34,712	13,325	48,037	674	0.9999	487	0.9998
R5	30,639	4,104	34,743	13,339	48,083	672	0.9970	486	0.9969
R6	30,673	4,102	34,775	13,354	48,128	674	0.9996	487	0.9994
R7	30,706	4,100	34,806	13,368	48,174	674	0.9995	487	0.9993
R8	30,648	4,090	34,738	13,343	48,081	674	0.9994	487	0.9992
R9	30,590	4,081	34,671	13,318	47,989	672	0.9967	485	0.9964
R10	30,532	4,071	34,603	13,293	47,896	674	0.9993	487	0.9991
R11	30,474	4,061	34,536	13,268	47,803	674	0.9993	487	0.9990
R12	30,417	4,052	34,468	13,242	47,711	674	0.9993	487	0.9990
R13	30,307	4,035	34,342	13,195	47,537	672	0.9965	485	0.9962
R14	30,197	4,018	34,216	13,147	47,362	674	0.9992	487	0.9989

(4) 減量シナリオの設定

令和 14(2032)年度を目標年度として次のように減量シナリオを設定する。

①すべての資源・ごみの発生抑制（施策 1）

すべての資源・ごみについて、令和 14(2032)年度には 10%が発生抑制により減量すると仮定した。

②食品ロスの発生抑制（施策 2）

普及啓発活動等により、直接廃棄や食べ残しなどの食品ロスは、令和 14(2032)年度には 20%が発生抑制により減量すると仮定した。

③調理くずの発生抑制（施策 3）

水切りや自家処理の促進により、調理くずは、令和 14(2032)年度には 5%が発生抑制により減量すると仮定した。

④リサイクルの推進（施策 4～7）

可燃ごみとして捨てられている量が多い古紙、プラスチック製容器包装に加えて、びん・缶・ペットボトルのリサイクルを推進することにより、令和 14(2032)年度には 20%がリサイクルされると仮定した。

表-8 減量シナリオ

施策	分別区分	品目	3 R区分	内容	シナリオ
1	すべての資源・ごみ	全体	リデュース リユース	●発生抑制	R14に10%減少 R5～R14までに均等に減量
2	燃やすごみ	食品ロス	リデュース リユース	●食品ロスの発生抑制	R14に食品ロスの割合が20%減 R5～R14までに均等に減量
3	燃やすごみ	調理くず	リデュース リユース	●水切り ●自家処理	R14に水切り等により生ごみが5%減少 R5～R14までに均等に減量
4	燃やすごみ	古紙	リサイクル	●分別排出の向上	R14に20%減少 R5～R14までに均等に減量
5	燃やすごみ	ペットボトル	リサイクル	●分別排出の向上	R14に20%減少 R5～R14までに均等に減量
6	燃やすごみ	プラスチック製容器包装	リサイクル	●分別排出の向上	R14に20%減少 R5～R14までに均等に減量
7	燃やさないごみ	びん・缶	リサイクル	●分別排出の向上	R14に20%減少 R5～R14までに均等に減量

(5) 資源・ごみ量の推計

現状施策で推移した資源・ごみ量から減量シナリオで設定した各年度の減量効果を差し引いて、各年度の資源・ごみ量を推計した。

令和 14(2032)年度の排出物原単位は 631(g/人日)で、令和 3(2021)年度の 669(g/人日)と比較して 6%の減量となる。

令和 14(2032)年度の処理ごみ量原単位は 441(g/人日)で、令和 3(2021)年度の 487(g/人日)と比較して 9%の減量となる。

表-9 計画資源・ごみ量

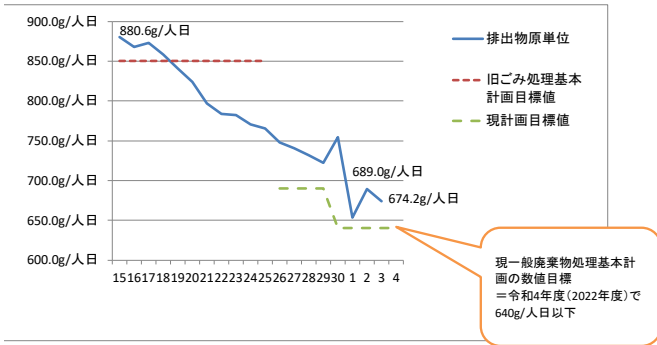
単位(t/年)

年度	収集ごみ			持込ごみ			資源	
	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	集団回収	行政回収
R3	27,596	1,629	1,348	4,048	34	26	1,769	11,542
R4	27,626	1,631	1,349	4,046	34	26	1,770	11,555
R5	27,360	1,624	1,344	4,024	34	26	1,772	11,627
R6	27,095	1,617	1,339	4,002	34	26	1,774	11,699
R7	26,832	1,610	1,334	3,979	33	26	1,776	11,770
R8	26,491	1,598	1,324	3,950	33	26	1,773	11,805
R9	26,154	1,586	1,315	3,920	33	25	1,769	11,839
R10	25,819	1,575	1,306	3,891	33	25	1,766	11,872
R11	25,488	1,563	1,297	3,862	32	25	1,763	11,904
R12	25,159	1,552	1,287	3,833	32	25	1,759	11,934
R13	24,791	1,537	1,276	3,797	32	25	1,753	11,943
R14	24,427	1,523	1,265	3,762	32	24	1,747	11,950

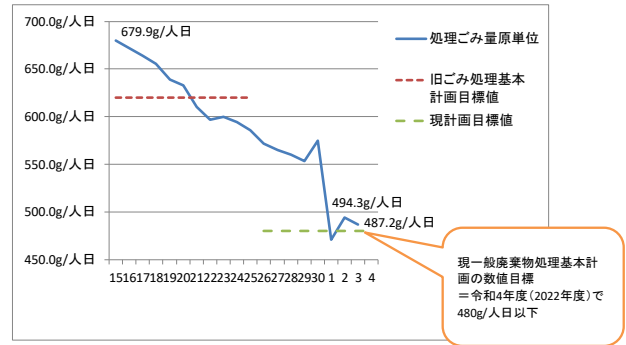
年度	収集ごみ小計	持込ごみ小計	ごみ合計	資源合計	資源・ごみ合計	排出物原単位		処理ごみ量原単位	
						原単位(g/人日)	R3を1とした係数	原単位(g/人日)	R3を1とした係数
R3	30,573	4,108	34,681	13,311	47,992	674	1.0000	487	1.0000
R4	30,606	4,106	34,712	13,325	48,037	674	0.9999	487	0.9998
R5	30,328	4,084	34,411	13,400	47,811	668	0.9914	481	0.9874
R6	30,051	4,061	34,112	13,474	47,585	666	0.9883	478	0.9804
R7	29,775	4,039	33,814	13,547	47,360	662	0.9826	473	0.9708
R8	29,414	4,009	33,422	13,578	47,000	659	0.9770	468	0.9613
R9	29,055	3,979	33,034	13,609	46,643	653	0.9687	463	0.9494
R10	28,700	3,949	32,649	13,638	46,287	651	0.9658	459	0.9427
R11	28,347	3,919	32,267	13,666	45,933	647	0.9602	455	0.9334
R12	27,998	3,890	31,888	13,693	45,581	644	0.9547	450	0.9242
R13	27,605	3,853	31,458	13,696	45,154	638	0.9465	445	0.9125
R14	27,215	3,818	31,033	13,697	44,729	636	0.9436	441	0.9059

資料6 小平市一般廃棄物処理基本計画（旧ごみ処理基本計画） 数値目標等の推移

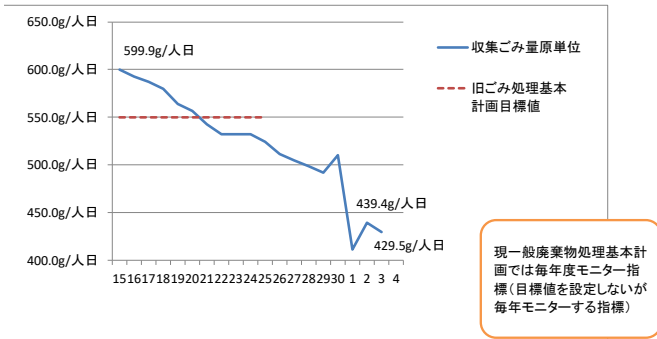
排出物原単位



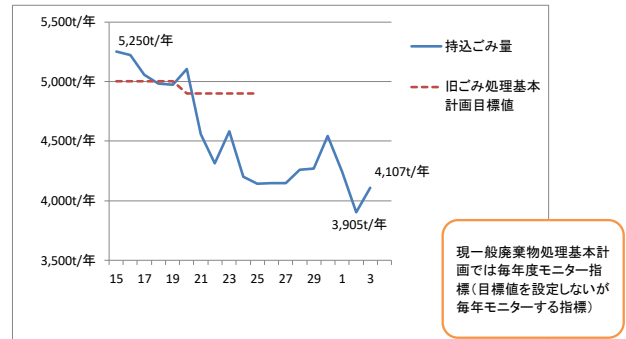
処理ごみ量原単位



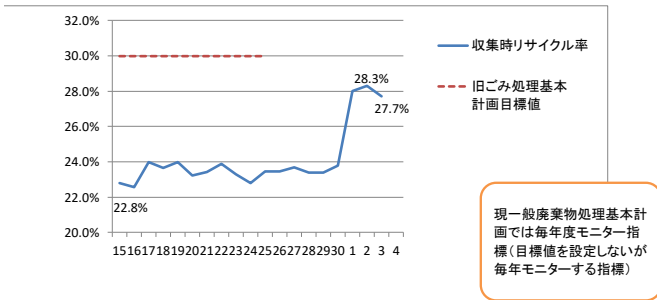
収集ごみ量原単位



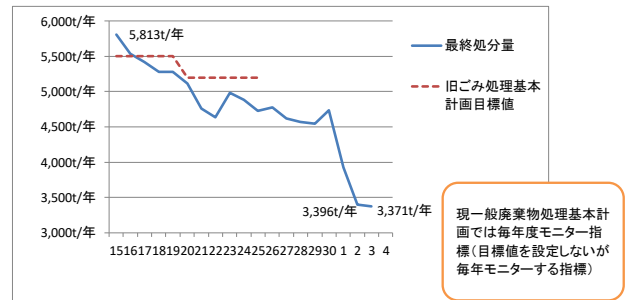
持込ごみ量



収集時リサイクル率



最終処分量



	前計画目標値	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	現計画目標値 R4 (H34)
①排出物原単位 (g/人日)	850.0	880.6	868.1	873.3	858.5	840.5	824.3	797.1	784.0	782.2	770.6	765.1	748.2	740.7	731.8	722.1	754.3	653.8	689.0	674.2	640.0
②処理ごみ量原単位 (g/人日)	620.0	679.9	672.2	663.9	655.3	639.0	632.8	610.4	596.8	599.9	594.6	585.6	572.0	564.9	560.2	553.3	574.6	470.8	494.3	487.2	480.0
③収集ごみ量原単位 (g/人日)	550.0	599.9	592.4	587.0	580.0	564.2	556.4	542.3	532.4	532.1	532.5	524.5	511.4	504.8	498.8	492.1	510.3	411.4	439.4	429.5	モニター指標 (毎年度)
④持込ごみ量 (t/年)	H15～:5,000 H20～:4,900	5,250	5,222	5,058	4,984	4,973	5,104	4,555	4,315	4,581	4,203	4,143	4,145	4,145	4,258	4,269	4,542	4,239	3,905	4,107	モニター指標 (毎年度)
⑤収集時リサイクル率 (%)	30.0%	22.8%	22.6%	24.0%	23.7%	24.0%	23.2%	23.4%	23.9%	23.3%	22.8%	23.5%	23.5%	23.7%	23.4%	23.4%	23.8%	28.0%	28.3%	27.7%	モニター指標 (毎年度)
⑥最終処分量 (t/年)	H15～:5,500 H20～:5,200	5,813	5,539	5,419	5,280	5,281	5,119	4,759	4,635	4,981	4,885	4,731	4,777	4,624	4,573	4,542	4,736	3,927	3,396	3,371	モニター指標 (毎年度)
温室効果ガス排出量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.26 kg/人日										モニター指標 (毎年度)
温室効果ガス排出量 (kg/人日)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.26	0.25	0.26	0.32	0.28	0.28	0.27	0.28	0.23	0.23	モニター指標 (毎年度)
資源物混入率 (%)	10%以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	可成12.8% 不燃26.0%	-	-	可成11.8% 不燃16.4%	-	-	-	-	可成12.2% 不燃4.3%	モニター指標 (計画見直し時)
市民満足度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	モニター指標 (計画見直し時)

資料7 計画改訂の経過

1 改訂経過

2 小平市廃棄物減量等推進審議会（第12期）

（1）審議の経過

（2）委員名簿

（3）諮問文

（4）答申文

3 計画（改訂）素案への意見（パブリックコメント）

（1）期間

（2）方法

（3）閲覧場所

（4）意見募集の結果

（5）意見等の分類（件数）

（6）意見等への対応状況